

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年7月12日
【四半期会計期間】	第25期第1四半期（自平成25年3月1日至平成25年5月31日）
【会社名】	株式会社エスケイジャパン
【英訳名】	SK JAPAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 久保 敏志
【本店の所在の場所】	大阪市中央区上町一丁目4番8号
【電話番号】	06(6765)0670
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 川上 優
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区上町一丁目4番8号
【電話番号】	06(6765)0670
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 川上 優
【縦覧に供する場所】	株式会社エスケイジャパン東京営業所 （東京都台東区寿三丁目14番13号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）上記の東京営業所は、未登記につき法定の縦覧場所ではありませんが、投資者の便宜を考慮して縦覧に供する場所としております。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第24期 第1四半期連結 累計期間	第25期 第1四半期連結 累計期間	第24期
会計期間	自平成24年 3月1日 至平成24年 5月31日	自平成25年 3月1日 至平成25年 5月31日	自平成24年 3月1日 至平成25年 2月28日
売上高(千円)	1,920,737	1,561,148	8,278,640
経常利益又は 経常損失( )(千円)	8,410	53,672	149,314
四半期純損失( )又は当期純利 益(千円)	11,083	58,631	117,457
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	13,484	57,618	126,737
純資産額(千円)	1,925,940	1,919,553	2,024,767
総資産額(千円)	3,916,237	3,713,029	3,580,916
1株当たり四半期純損失金額 ( )又は1株当たり当期純利益 金額(円)	1.35	7.13	14.28
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	14.26
自己資本比率(%)	48.6	50.9	55.7

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第24期第1四半期連結累計期間及び第25期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、当社グループは平成25年2月をもってリテイル事業から撤退しており、同事業を営んでおりました連結子会社株式会社ナカヌキヤは、平成25年5月31日付をもって解散及び清算を決議し、現在清算手続中であります。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による金融緩和等の政策への期待感から円安・株高傾向に推移し、輸出関連企業を中心とした業績改善により一部で明るい兆しがあるものの、消費税増税や所得環境の将来への不安感から本格的な回復には至りませんでした。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,561百万円（前年同期比18.7%減）、営業損失は60百万円（前年同期は5百万円の営業損失）、経常損失は53百万円（前年同期は8百万円の経常損失）、四半期純損失は58百万円（前年同期は11百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

#### <キャラクターエンタテインメント事業>

アミューズメント部門におきましては、チェーン展開しているオペレーターへの商品開発・販売体制見直しによる組織マネジメントの強化を図りました。商品面では、前期より引き続き好調であった「星のカービィ」及び当四半期より商品化しヒットした「ひつじのショーン」等ありましたが、商品企画の遅れと前年同四半期にヒットした「モケケ」・「Moja!」等をカバーする商材がなく、売上高は706百万円（前年同期比29.7%減）となりました。

S P（セールスプロモーション）部門におきましては、食品業界及び製薬業界向けの販売促進商品の積極的な営業活動を展開したことにより、売上高は170百万円（前年同期比29.8%増）となりました。

以上の結果、売上高は876百万円（前年同期比22.9%減）、営業損失は81百万円（前年同期は22百万円の営業損失）となりました。

#### <キャラクター・ファンシー事業>

当事業におきましては、スマートフォン向けアプリケーション等のゲームキャラクターが前年同四半期を大きく上回ったことに加え、大手量販店での「ゆるキャラ」の取り扱いが拡大したことにより大幅に売上高が増加しました。また、当第1四半期より販売を開始した「閃乱カグラ」のトレーディングカードゲームも売上高の増加に寄与しました。

しかしながら、為替の影響や新基幹システム導入等による経費の増加により、営業利益は減少しました。

以上の結果、売上高は684百万円（前年同期比19.1%増）、営業利益は12百万円（前年同期比40.2%減）となりました。

#### <リテイル事業>

当社グループは平成25年2月をもってリテイル事業から撤退しており、同事業を営んでおりました連結子会社株式会社ナカヌキヤは、平成25年5月31日付をもって解散及び清算を決議し、現在清算手続中であります。

#### (2)財政状態

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ132百万円増加し、3,713百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少額が108百万円あったことにより一部相殺されたものの、現金及び預金の増加額216百万円及びたな卸資産の増加額44百万円によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ237百万円増加し、1,793百万円となりました。これは主に、買掛金の増加額103百万円及び短期借入金の増加額80百万円によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べ105百万円減少し、1,919百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少額107百万円によるものであります。

#### (3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4)研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,381,000
計	12,381,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年7月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,359,103	8,359,103	東京証券取引所 大阪証券取引所 各市場第一部	単元株式数 100株
計	8,359,103	8,359,103	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成25年7月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年3月1日 ~ 平成25年5月31日	-	8,359,103	-	440,948	-	471,887

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年2月28日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 133,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,178,200	81,782	-
単元未満株式	普通株式 47,103	-	-
発行済株式総数	8,359,103	-	-
総株主の議決権	-	81,782	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が900株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権に係る議決権の数9個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社エスケイジャパン	大阪市中央区上町一丁目4番8号	133,800	-	133,800	1.60
計	-	133,800	-	133,800	1.60

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	694,987	911,862
受取手形及び売掛金	1,000,741	892,713
電子記録債権	40,891	72,245
商品	358,765	402,914
繰延税金資産	21,194	27,331
その他	62,793	71,711
貸倒引当金	6,618	6,253
流動資産合計	2,172,756	2,372,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	531,341	516,195
減価償却累計額	177,310	166,099
建物及び構築物(純額)	354,031	350,095
車両運搬具	11,858	11,858
減価償却累計額	8,946	9,310
車両運搬具(純額)	2,912	2,548
その他	85,923	75,058
減価償却累計額	68,507	59,453
その他(純額)	17,416	15,605
土地	539,494	539,494
有形固定資産合計	913,853	907,743
無形固定資産	77,811	81,979
投資その他の資産		
投資有価証券	58,775	63,478
繰延税金資産	7,327	3,807
その他	359,553	292,301
貸倒引当金	9,162	8,806
投資その他の資産合計	416,493	350,781
固定資産合計	1,408,159	1,340,504
資産合計	3,580,916	3,713,029

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	597,536	700,565
短期借入金	600,000	680,000
未払法人税等	35,111	1,311
繰延税金負債	66	498
賞与引当金	34,141	63,228
その他	147,579	204,376
流動負債合計	1,414,435	1,649,979
固定負債		
繰延税金負債	4,280	4,267
役員退職慰労引当金	137,214	139,010
長期預り保証金	218	218
固定負債合計	141,713	143,495
負債合計	1,556,148	1,793,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,948	440,948
資本剰余金	471,887	471,887
利益剰余金	1,123,995	1,016,012
自己株式	51,203	51,220
株主資本合計	1,985,628	1,877,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,065	12,853
繰延ヘッジ損益	120	151
為替換算調整勘定	2,077	2,123
その他の包括利益累計額合計	9,867	10,881
新株予約権	29,271	31,044
純資産合計	2,024,767	1,919,553
負債純資産合計	3,580,916	3,713,029



(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	1,920,737	1,561,148
売上原価	1,380,861	1,152,985
売上総利益	539,876	408,162
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	184,362	161,638
賞与引当金繰入額	42,760	29,087
退職給付費用	7,721	8,128
役員退職慰労引当金繰入額	1,795	1,795
貸倒引当金繰入額	808	400
その他	307,848	268,910
販売費及び一般管理費合計	545,296	469,159
営業損失( )	5,419	60,996
営業外収益		
受取利息	64	28
受取配当金	352	356
投資有価証券評価損戻入益	-	2,876
受取家賃	720	1,409
為替差益	-	2,926
その他	3,172	1,040
営業外収益合計	4,309	8,637
営業外費用		
支払利息	1,296	1,279
その他	6,003	34
営業外費用合計	7,300	1,314
経常損失( )	8,410	53,672
特別利益		
新株予約権戻入益	-	652
特別利益合計	-	652
税金等調整前四半期純損失( )	8,410	53,020
法人税、住民税及び事業税	6,011	8,491
法人税等調整額	3,339	2,879
法人税等合計	2,672	5,611
少数株主損益調整前四半期純損失( )	11,083	58,631
四半期純損失( )	11,083	58,631

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	11,083	58,631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,985	787
繰延ヘッジ損益	350	272
為替換算調整勘定	65	46
その他の包括利益合計	2,401	1,013
四半期包括利益	13,484	57,618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,484	57,618
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間において清算手続中の株式会社ナカヌキヤは、重要性が低下したため、連結の範囲から除外しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
減価償却費	4,714千円	11,032千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月19日 定時株主総会	普通株式	49,351	6	平成24年2月29日	平成24年5月21日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月18日 定時株主総会	普通株式	49,351	6	平成25年2月28日	平成25年5月20日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	リテイル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,136,615	574,691	209,430	1,920,737	-	1,920,737
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,642	91,706	-	99,349	(99,349)	-
計	1,144,258	666,398	209,430	2,020,087	(99,349)	1,920,737
セグメント利益 又は損失( )	22,469	21,609	7,497	8,357	2,937	5,419

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額2,937千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	876,773	684,374	1,561,148	-	1,561,148
セグメント間の 内部売上高又は振替高	31,227	16,022	47,250	(47,250)	-
計	908,001	700,397	1,608,398	(47,250)	1,561,148
セグメント利益 又は損失( )	81,230	12,932	68,297	7,301	60,996

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額7,301千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

3. 当社グループは平成25年2月をもってリテイル事業から撤退しており、同事業を営んでおりました連結子会社株式会社ナカヌキヤは、平成25年5月31日付をもって解散及び清算を決議し、現在清算手続中であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
1株当たり四半期純損失金額	1円35銭	7円13銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	11,083	58,631
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	11,083	58,631
普通株式の期中平均株式数(株)	8,225,258	8,225,191
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年7月10日

株式会社エスケイジャパン  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 後藤 紳太郎 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 秦 一二三 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エスケイジャパンの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エスケイジャパン及び連結子会社の平成25年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。